

※すでに就学前児童保護者用ニーズ調査票がお手元にある場合も、お手数ですが集計の都合上、すべての質問にお答えください。

東久留米市  
子ども・子育て会議  
平成30年7月30日

## 東久留米市子ども・子育て支援ニーズ調査票 (就学児童保護者用)

「東久留米市

子ども・子育て支援ニーズ調査」

ご協力をお願い

日頃より市政に対しご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

突然のご案内で大変恐れ入りますが、東久留米市の子ども・子育て支援に関するアンケート調査にご協力くださいますようお願いいたします。

平成27年度より、「子ども・子育て支援法」に基づく新たな子ども・子育て支援新制度が、スタートする予定です。

この新しい制度では、東久留米市の幼児教育(幼稚園等)・保育や、子ども・子育て支援の充実を図るために、5年間を一期とする子ども・子育て支援事業計画を作成し、計画的に給付・事業を実施することとなっています。

その中で、学童保育事業などの就学児童に対する施策の充実とするために、現在小学2年生の児童の保護者の方に、子ども・子育て支援サービスの利用希望に関する調査をお願いいたします。

調査結果は、今後の東久留米市における子ども・子育て支援施策を検討する上で、大変重要な資料となります。お忙しいところ、まことに恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただきご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

平成25年10月

東久留米市長 馬場 一彦

※この調査は、東久留米市立小学校2年生の保護者の皆様にご協力をお願いするものです。この調査票についてご不明な点がございましたら、お手数ですが下記までお問い合わせください。

【担当】東久留米市子ども家庭部 子育て支援課 子育て支援係

【住所】〒203-8555 東久留米市本町3-3-1

【電話】042(470)7777 内線2412・2414

(受付時間:平日9:00~12:00及び13:00~17:00)

### 【ご記入に当たってのお願い】

- 1 調査票には、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご回答ください。（保護者ご本人の記入が難しい場合は、ご家族の方などが代わって、保護者ご本人の意見をご記入ください。）
- 2 ボールペンまたは、濃い鉛筆ではっきりとご記入ください。
- 3 回答方法は、選択肢の中から当てはまる番号に○印をつけていただく場合、数字を記載していただく場合、ご自由に記述していただく場合があります。
- 4 選択肢の中からお選びいただく場合には、選択していただく数が設問により異なりますので、ご注意ください。
- 5 設問によって回答していただく方が限られる場合があります。説明文や矢印にしたがってご回答ください。

ご記入いただきました調査票は、 月 日 ( ) までに担任の先生にお渡してください。ご住所、お名前は記載なさらないで結構です。また、開封は市の子育て支援課で行いますので封筒には調査票以外のものを入れないようお願いいたします。

### いただいた回答は東久留米市の子育て支援の充実に生かされます



計画に基づいて整備

調査等によって把握された利用希望等を考慮して、今後の計画を策定

### 市町村子ども・子育て支援事業計画 (5か年計画)

幼児期の学校教育・保育や地域の子育て支援について  
・「量の見込み(現在の利用状況+利用希望)」  
・「確保方策(確保の内容+実施時期)」  
を記載

## お住まいの地域についてうかがいます。

問1 お子さんが通っている学校はどこですか。当てはまる番号1つに○をつけてください

- |          |          |           |           |
|----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 第一小学校 | 5. 第六小学校 | 9. 小山小学校  | 13. 下里小学校 |
| 2. 第二小学校 | 6. 第七小学校 | 10. 神宝小学校 |           |
| 3. 第三小学校 | 7. 第九小学校 | 11. 南町小学校 |           |
| 4. 第五小学校 | 8. 第十小学校 | 12. 本村小学校 |           |

## 小学2年生のお子さんご家族の状況についてうかがいます。

問2 小学2年生のお子さんは何人きょうだいですか。小学2年生のお子さんを含めた人数を数字でご記入ください（「ひとりっ子」は「1」）。

お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、一番下のお子さんの生年月月をご記入ください。

- |   |
|---|
| 1. きょうだい数 _____ 人 (本人を含む)                       |
| 2. 末子の生年月月 平成・西暦 _____ 年 _____ 月 生まれ ( _____ 歳) |
| (平成もしくは西暦に○をつけてください)                            |

問3 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。小学2年生のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |       |       |                  |
|-------|-------|------------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 ( _____ ) |
|-------|-------|------------------|

問4 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |           |            |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問5 小学2年生のお子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号1つに○をつけてください。

- |          |         |         |          |                  |
|----------|---------|---------|----------|------------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 ( _____ ) |
|----------|---------|---------|----------|------------------|

小学2年生のお子さんの保護者の働き方についてうかがいます。

※ここでいう「フルタイム(育児時間の時短勤務の方を含みます)」とは、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」をいい、「パート・アルバイト等」とは「フルタイム以外の就労」をいいます

問6 小学2年生のお子さんの保護者の現在の就労状況(自営業、家族従事者含む)をうかがいます。

(1) 当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親 (いずれか1つに○)	父親 (いずれか1つに○)
1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問8へ	1. フルタイムで就労している 2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である 3. パート・アルバイト等で就労している 4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である 5. 以前は就労していたが、現在は就労していない 6. これまで就労したことがない ⇒ 問8へ

(2) (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。 週当たりの「就労日数」、1日当たりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。

母親 (下線部に数字を記入)	父親 (下線部に数字を記入)
a. 1週当たり _____ 日	a. 1週当たり _____ 日
b. 1日当たり _____ 時間	b. 1日当たり _____ 時間

(3) (1)で「1.~4.」(就労している)に○をつけた方にうかがいます。家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は、必ず「18時」のよように、24時間制でお答えください。

母親 (下線部に数字を記入)	父親 (下線部に数字を記入)
a. 家を出る時刻 _____ 時	a. 家を出る時刻 _____ 時
b. 帰宅時刻 _____ 時	b. 帰宅時刻 _____ 時

問7 問6の(1)で「3.4.」(パート・アルバイト等で就労している)に○をつけた方にうかがいます。該当しない方は、問9-1へお進みください。

フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親 (いずれか1つに○)	父親 (いずれか1つに○)
1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望	3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望
4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

問8 問6の(1)で「5. 以前は就労していたが、現在は就労していない」または「6. これまで就労したことがない」に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号・記号それぞれ1つに○をつけ、該当する下線部に数字をご記入ください。

母親 (いずれか1つに○)		父親 (いずれか1つに○)	
1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)		1. 子育てや家事などに専念したい(就労の予定はない)	
2. 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳 になったところに就労したい		2. 1年より先、一番下の子どもが _____ 歳 になったところに就労したい	
3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい		3. すぐにも、もしくは1年以内に就労したい	
希望する就労形態	①②どちらかに○	①フルタイム	①フルタイム
		②パートタイム、アルバイト等	②パートタイム、アルバイト等
	②に○をつけた方のみ	a. 1週当たり _____ 日 b. 1日当たり _____ 時間	a. 1週当たり _____ 日 b. 1日当たり _____ 時間

小学2年生のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問9-1 この1年間に、小学2年生のお子さんが病気やけがで学校を休んだ時の対処方法として、当てはまる記号すべてに○をつけ、それぞれの日数も数字でご記入ください（半日程度の対応の場合も1日とカウントしてください）。

1年間の対処方法	日数
ア 父親が仕事を休んだ	日
イ 母親が仕事を休んだ	日
ウ (同居者を含む) 親族・知人に子どもをみてもらった	日
エ 父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた	日
オ 病児・病後児の保育(めぐのへや)を利用した	日
カ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
キ その他( )	日
ク 病気等で学校を休んだことはなかった	

問9-1で「ウ」から「キ」のいずれかに○をした方は次ページの問9-4へ

問9-1で「ア」「イ」のいずれかに回答した方うかがいます。

問9-2 父親または母親が仕事を休んで子どもを看護したとき、「できれば病児・病後児のための施設等を利用したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、日数についても数字でご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. できれば病児・病後児施設等を利用したい ⇒ \_\_\_\_\_日 ⇒ 問10へ  
 2. 利用したいとは思わない ⇒ 問9-3へ

問9-3 問9-2で「2. 利用したいとは思わない」に○をつけた方に伺います。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 病児・病後児を他人に看護してもらうのは不安      2. 地域の事業の質に不安がある  
 3. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間、日数など)がよくない      4. 利用料がかかる・高い  
 5. 利用料がわからない      6. 親が仕事を休んで対応するので必要ない  
 7. その他( )

⇒ 問9-3に答えたあとは問10へ

問9-1で「ウ」から「キ」のいずれかに回答した方うかがいます。

問9-4 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看護したい」と思われましたか。当てはまる番号1つに○をつけ、「ウ」から「キ」の日数のうち仕事を休んで見たかった日数についても数字でご記入ください。

1. できれば仕事を休んで看護したい ⇒ \_\_\_\_\_日 ⇒ 問10へ  
 2. 休んで看護することは非常に難しい ⇒ 問9-5へ

問9-5 問9-4で「2. 休んで看護することは非常に難しい」に○をつけた方うかがいます。そう思われる理由について当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. 子どもの看護を理由に休みがとれない      2. 自営業なので休めない  
 3. 休暇日数が足りないので休めない      4. その他( )

**小学2年生のお子さんのお一時預かり等（宿泊を伴う場合を含む）の利用についてうかがいます。**

問10 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。ある場合は、当てはまる番号すべてに○をつけ、1年間の利用日数（おおよそ）も数字でご記入ください。

利用している事業・日数（年間）	
1. ファミリー・サポート・センター （市に登録した地域住民が子どもを預かる事業）	_____日
2. 子どもショートステイ （出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業）	_____日
3. その他（ _____ ）	_____日
4. 利用していない	

問11 小学2年生のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、年間何日くらい事業を利用する必要があると思いますか。利用希望の有無について当てはまる番号・記号すべてに○をつけ、必要な日数をご記入ください（利用したい日数の合計と、目的別の内訳の日数を数字でご記入ください。）。

なお事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

1. 利用したい	合計日数 _____日
ア. 私用（買物、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の習い事等）、リフレッシュ目的	_____日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や保護者自身の通院 等	_____日
ウ. 不定期の就労	_____日
エ. その他（ _____ ）	_____日
2. 利用する必要はない ⇒ 問12へ	

問11-1へ

問11-1 問11で「1. 利用したい」に○をつけた方にうかがいます。問11の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思われますか。当てはまる番号すべてに○をつけてください。

1. ファミリー・サポート・センター （市に登録した地域住民が子どもを預かる事業）
2. 子どもショートステイ （出産や病気などの理由で児童養護施設で一時的に子どもを預かる事業）
3. 夜間養護等事業：トワイライトステイ （児童養護施設などで休日・夜間、子どもを保護する事業） ※現在、東久留米市では実施しておりません。
4. その他（ _____ ）

問 12 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、小学2年生のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）。あった場合は、この1年間の対処方法としてアからカの当てはまるものすべてに○をつけ、それぞれの泊数も数字でご記入ください。

	1年間の対処方法	泊数
1. あった	ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった	_____泊
← イからオのいずれかに○をした方は 次ページの問13へ	イ. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）を利用した （児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業）	_____泊
	ウ 仕方なく子どもを同行させた	_____泊
	エ 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	_____泊
	オ その他（ _____ ）	_____泊
2. なかった		

問 12 で「1. あった ア. (同居者を含む) 親族・知人にみてもらった」と答えた方にうかがいます。

問 12-1 その場合の困難度はどの程度でしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 非常に困難	2. どちらかという困難	3. 特に困難ではない
----------	--------------	-------------

## 小学2年生のお子さんの放課後の過ごし方について うかがいます。

問 13 小学2年生のお子さんについて、小学校低学年（3年生まで）のうち、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれ希望する週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には、利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は必ず「18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 自宅	週 _____ 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 _____ 日くらい
3. 習い事	週 _____ 日くらい
4. 児童館 ※⑪	週 _____ 日くらい
5. 学童保育 ※⑩	週 _____ 日くらい → 下校時から _____ 時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑮	週 _____ 日くらい
7. 放課後子ども教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。現在、東久留米市では実施していません。)	週 _____ 日くらい
8. その他（公園、学校の校庭など）	週 _____ 日くらい

※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容についてはそちらをご覧ください。



問 14 小学2年生のお子さんについて、小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後（平日（月～金）の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。当てはまる番号すべてに○をつけ、それぞれの週当たり日数を数字でご記入ください。また、「学童保育」の場合には利用を希望する時間も下線部に数字でご記入ください。時間は、必ず（例）18時のように24時間制でご記入ください。

**※先のことになります、現在お持ちのイメージでお答えください。**

1. 自宅	週_____日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週_____日くらい
3. 習い事	週_____日くらい
4. 児童館 ※⑪	週_____日くらい
5. 学童保育 ※⑩	週_____日くらい → 下校時から_____時まで
6. ファミリー・サポート・センター ※⑮	週_____日くらい
7. 放課後子ども教室 (地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。現在、東久留米市では実施していません。)	週_____日くらい
8. その他（公園、学校の校庭など）	週_____日くらい

**※のあとの丸付き数字は、別紙「東久留米市の子ども・子育て支援事業一覧」の事業番号です。内容についてはそちらをご覧ください。**

問 15 問 13 または問 14 で「5. 学童保育」に○をつけた方にうかがいます。小学2年生のお子さんについて、土曜日と日曜日・祝日に、学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。（1）（2）それぞれについて、当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

（1）土曜日

1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

（2）日曜・祝日

1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

問 16 小学2年生のお子さんについて、お子さんの夏休み・冬休みなどの長期の休暇期間中の学童保育の利用希望はありますか。事業の利用には、一定の利用料がかかります。当てはまる番号1つに○をつけてください。また利用したい時間帯を、下線部に「9時から18時」のように24時間制でご記入ください。

1. 低学年（3年生まで）の間は利用したい	} ⇒	利用したい時間帯
2. 高学年（4～6年生）になっても利用したい		_____時から _____時まで
3. 利用する必要はない		

**調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
子育て支援への満足度やご意見についてお伺いします。**

問17 東久留米市における子育ての環境や支援への満足度について当てはまる番号に1つに○をつけてください。

満足度が低い	←	→	満足度が高い	
1	2	3	4	5

問18 最後に、東久留米市の教育・保育環境の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

.....
.....
.....
.....
.....
.....
.....

ご協力いただきましてありがとうございました。  
調査票を封筒に入れ、担任の先生にお渡しく下さい。